

大分市では、皆様からのご意見を伺いながら、8月末の復興計画策定に向けて種々の検討を行っているところです。

かわら版3号では、令和8年7月20日に開催した復興意見交換会の概要や復興のキャッチフレーズに関するアンケート結果をお知らせいたします。

「復興意見交換会」を開催しました

復興意見交換会の概要

今回から「復興意見交換会」と題し、佐賀関地域に関わるたくさんの皆さまにご参加いただきました。

復興意見交換会では、第3回意向調査結果のほか、佐賀関地域における復興の考え方や復興イメージ図、復興のめざす姿などをお示しいたしました。

また、お示しした内容について質疑応答を行い、参加者のみなさんと意見交換を行いました。

復興意見交換会プログラム

- ・ 市長挨拶
- ・ 第3回意向調査の結果
- ・ 復興計画の構成と復興イメージ図
- ・ 復興のめざす姿
(キャッチフレーズ)
- ・ 今後のスケジュール

開催日時： 令和8年7月20日（月・祝）

14:00～15:30

開催場所： 佐賀関市民センター

参加者： 122名

会場の様子



復興意見交換会の主な内容

① 第3回意向調査の結果について

- ・ 6月30日締め切りの復興市営住宅の申請結果

② 復興計画の構成と復興イメージ図について

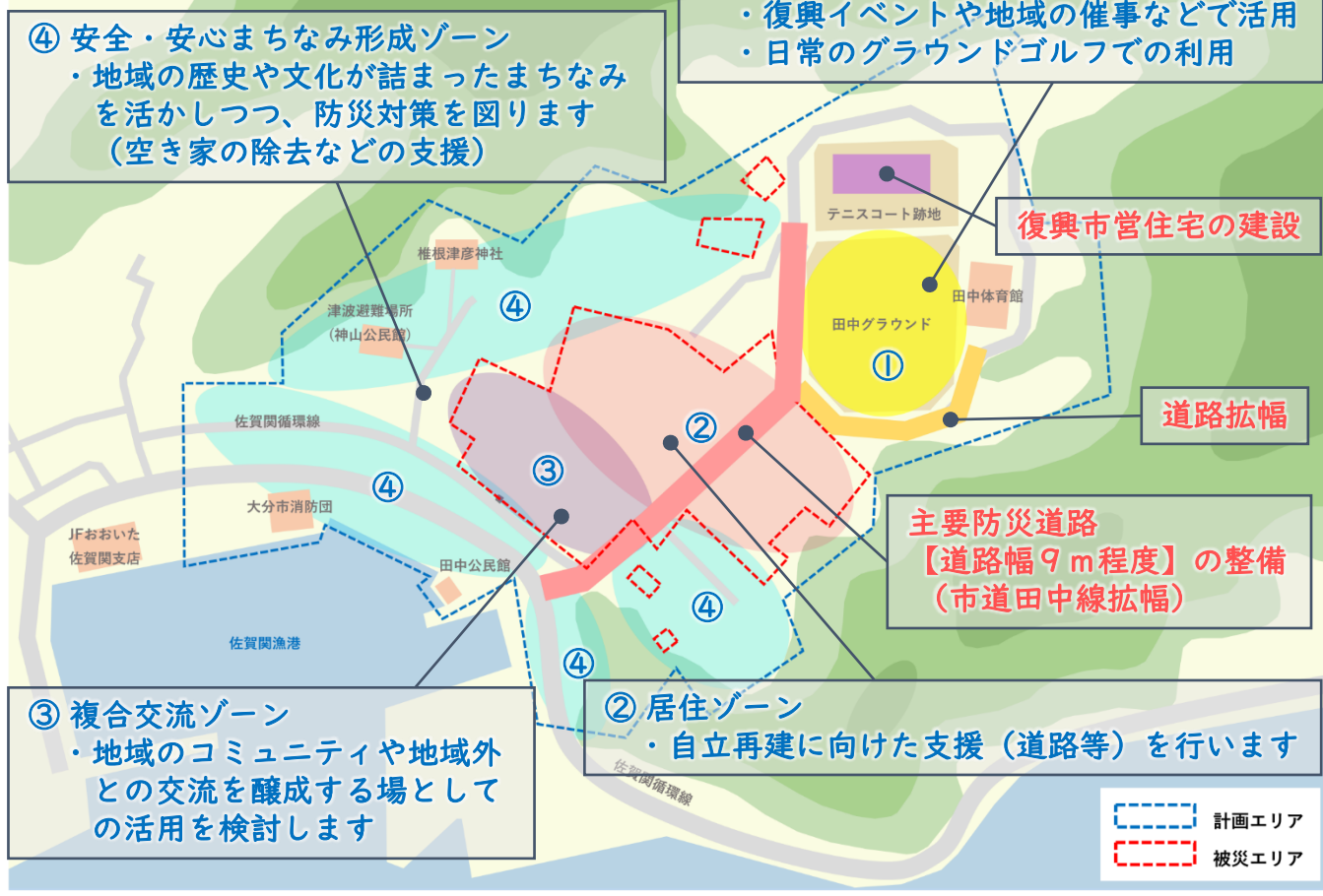
- ・ 復興計画（マスタープラン）と復興まちづくり実行計画（アクションプラン）の構成
- ・ 広域の復興イメージ図と佐賀関地域における「復興の考え方」について
- ・ 復興イメージ図（被災地ゾーニング図）について
交流広場ゾーン、居住ゾーン、複合交流ゾーン、安全・安心まちなみ形成ゾーン

③ 復興のめざす姿（キャッチフレーズ）について

- ・ 地元からいただいた5つの『復興のことば』を「復興の理念」とすること。

④ 今後のスケジュールについて

【被災地ゾーニング図】



復興意見交換会での主なご意見と市の回答

- （意見①）主要防災道路に面していない土地の多くは接道がないため、住宅が建てられない。そういった土地は民民（個人間同士など）で土地の売買を行うという前提で考えているのか。
- （回答①）土地は個人の財産であるので民民で土地の売買を行っていただくことになります。道路などの公共物をつくる場合など、公共に明確な目的がなければ、市が土地を買い取ることは困難です。
- （意見②）今後復興まちづくり実行計画はどういったスケジュールで策定していくのか。
- （回答②）復興まちづくり実行計画については、来年の3月末までに作成する予定です。復興まちづくり実行計画の策定においても、開催日程は未定ですが、今回のようなみなさんとの意見交換の場を設けて進めていきます。
- （意見③）復興にあたっては、一人の考えや一つの団体の考えではなく、みんなの意見を聞いて進めてほしい。
- （回答③）アウトリーチ（個別訪問）や意見交換会はまさにその趣旨です。ただし、多様なご意見をすべて反映することは難しいため、どこまでできるかの判断をしなければならぬことはご理解ください。

復興のキャッチフレーズに関するアンケート結果を報告します

① 『絆でつながる笑顔 安全安心のまち佐賀関』 20票

② 『復興から未来へ つながりあふれる佐賀関』 59票

③ 『人がつながる 絆と安心のまち佐賀関』 27票

お問い合わせ先

1. 復興全般について	生活再建支援・復興本部	(097-547-7174)
2. 復興計画について	都市計画課	(097-537-5636)
3. 復興市営住宅について	住宅課	(097-537-5977)